

ニーズ調査結果報告書

調査概要

対象：一般従業員全員(92名)、回答者(87名)、回収率94.5%
調査方法：匿名、書面による提出
調査機関：8月25日～10月29日

1.調査結果

(1)現在の介護の状況と今後の見込み

- ・87名中23名が「介護経験がある」と回答。
- ・そのうち8名が「現在も介護をしている」と回答。
- ・78名中59名が「今後5年以内に介護をする可能性がある」と回答。
- ・69名中51名が不安を感じると回答。
- ・不安を感じる理由として「公的介護保険の仕組みが分からない」、「社内の支援制度が分からない」、「代替要員がいない事」、「仕事と介護の両立の方法が分からない事」、「将来の見通しがたてにくい」が多かった。
- ・職場で相談できる雰囲気があるかについては、21名が「ある」、9名が「ない」、39名が「どちらともいえない」と回答。

(2)介護が発生した際の働き方

- ・介護が発生した際、仕事は「続けられる」と11名、「続けられないと思う」が15名、「わからない」が43名が回答。
- ・望ましい介護中の働き方は仕事と介護の両立で86名中65名が回答。
- ・87名中48名が介護休暇は仕事をする体制を構築する期間と回答。

(3)介護保険制度などについて

- ・地域包括センターの認知度は87名中55名が「名称も利用方法も知らない」と回答。
- ・社内の介護制度については87名中69名が「あるかどうか知らない」と回答。
- ・介護保険に加入しているかどうか分からない人が87名中22名。
- ・公的介護制度の知識について「知っているものはない」と87名中37名が回答。
- ・各項目においても知っている人は半分以下にとどまった。

(4)その他

- ・ノー残業デーの取り組みが機能していないと数名から指摘。
- ・残業ありきの体制をどうにかしてほしい。
- ・余裕ある人員構成を。
- ・有給休暇を希望通りとれなかった。

2.調査結果からの判明した課題

- ・介護の経験はないが、今後の介護の可能性ある人が大部分。
- ・社内や公的な介護制度に対する知識ない事が不安要素に多く挙げられている。
- ・社内に制度自体はあるが、それがうまく機能していないものが多い。
- ・社内に介護について相談できる雰囲気がない。
- ・代替要員がいない等。